



FutureNet **MR-250/F**

MOBILE ROUTER Series

設定例集

Version 2.4

目次

はじめに.....	4
第1章 FutureNet MR-250/F の設定例.....	6
1.1 ビジネス mopera.....	6
1.1.1 構成図	6
1.1.2 要件.....	7
1.1.3 設定手順.....	8
1.1.3.1 FOMA 簡易設定.....	8
1.1.3.2 設定の管理.....	10
1.2 mopera U 接続.....	11
1.2.1 構成図	11
1.2.2 要件.....	12
1.2.3 設定手順.....	14
1.2.3.1 FOMA 簡易設定.....	14
1.2.3.2 PPP(発信)設定.....	16
1.2.3.3 DNS リレー設定	18
1.2.3.4 DHCP サーバ設定.....	20
1.2.3.5 設定の管理.....	21
1.3 WarpLink DDNS 設定	22
1.3.1 要件.....	22
1.3.2 設定手順.....	23
1.3.2.1 PPP(発信)設定.....	23
1.3.2.2 DDNS クライアント設定.....	25
1.3.2.3 設定の管理.....	26
1.4 ビジネス mopera と mopea U の複数接続.....	27
1.4.1 構成図	28
1.4.2 要件.....	29
1.4.3 設定手順.....	31
1.4.3.1 FOMA 簡易設定.....	31
1.4.3.2 PPP(発信)設定.....	34

1.4.3.3	DNS リレー設定	35
1.4.3.4	DHCP サーバ設定.....	39
1.4.3.5	設定の管理.....	40
第2章	NTP クライアントの設定例.....	41
2.1	mopera U 接続.....	41
2.1.1	要件.....	41
2.1.2	設定手順.....	42
2.1.2.1	NTP クライアント設定	42
2.1.2.2	スケジュール設定.....	43
2.1.2.3	設定の管理.....	44

はじめに

このたびは本装置をご購入いただきまして、誠にありがとうございます。

本書には、**FutureNet MR-250/F Series** の設定例が記載されています。ご使用前に本書をよくお読みになり、正しくお使いいただけますようお願い致します。

また、製品に同梱されている「**FutureNet MR-250/F MOBILE ROUTER Series** ユーザーズマニュアル」をよく読み、理解されたうえで本装置をご使用ください。

■ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断で転用、転載しないようお願いいたします。
- (2) 本書の内容および製品仕様、外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- (3) 本装置の仕様は日本国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
This equipment is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- (4) 本書の作成にあたっては万全を期しておりますが、本書の内容の誤りや省略に対して、また本書の適用の結果生じた間接損害を含め、いかなる損害についても責任を負いかねますのでご了承ください。
- (5) 製品の保証に関する規定については製品添付の製品保証書をご覧ください。
- (6) 本製品にて提供されるファームウェアおよび本製品用として弊社より提供される更新用ファームウェアを、本製品に組み込んで使用する以外の方法で使用することは一切許可しておりません。

■セキュリティの確保について

パスワードを設定しない、もしくはデフォルトパスワードを使用する場合、ネットワーク上のだれからでも本装置の設定を行うことができます。

セキュリティの面からは非常に危険な為、ユニークなパスワードを設定することを強く推奨します。

■最新情報の入手について

当社では、製品に関する最新の情報（最新のファームウェア、マニュアルなど）を下記ホームページでご案内しています。ぜひご利用下さい。

センチュリー・システムズ (株)
FutureNet サポートデスク
<http://www.centurysys.co.jp/support/>

また、本書について万一ご不審な点や誤り、記載漏れなど、お気づきの点がございましたら、下記までご連絡ください。

センチュリー・システムズ (株)
FutureNet サポートデスク
support@centurysys.co.jp

■商標について

- ・ 「**FutureNet**」はセンチュリー・システムズ株式会社の登録商標です。
- ・ 『FOMA』、『FOMA UM02-F』、『FOMA UM02-K0』、『ビジネス mopera』、『mopera U』は株式会社 NTT ドコモの登録商標です。
『ビジネス mopera』はNTT ドコモが提供する法人向けリモートアクセスサービスです。
『mopera U』はNTT ドコモが提供するインターネット接続サービスです。
- ・ 下記製品名等は米国 Microsoft Corporation の登録商標です。
Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows 7

その他、本書で使用する各会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

第1章 FutureNet MR-250/F の設定例

1.1 ビジネス mopera

この設定例では、NTT ドコモが提供する閉域網サービスである"ビジネス mopera アクセスプレミアム FOMA タイプ"を利用してセンターと拠点間のリモート接続環境を実現します。

拠点側に LAN を設け複数の端末を配置するため、**FutureNet MR-250/F** に SNAT(固定 IP)を使用します。

1.1.1 構成図

本設定例の構成図を「図 1.1.1.1 ビジネス mopera 構成図」に示します。

センター側ルータには、拠点とセンター間のネットワーク構成に合わせて、拠点宛てのスタティックルートを設定します。

※ 本構成図の場合は、拠点 192.168.1.0/24 宛てのスタティックルートを設定します。

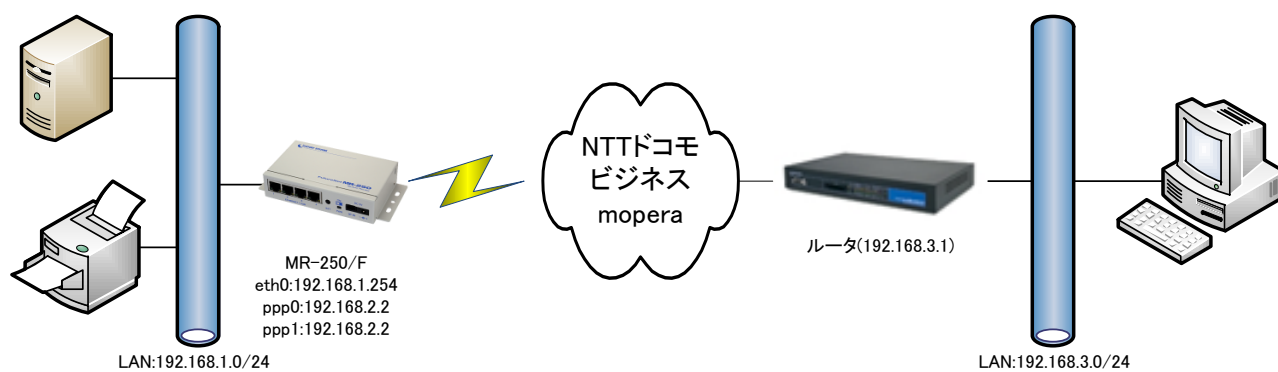


図 1.1.1.1 ビジネス mopera 構成図

1.1.2 要件

(1) ビジネス mopera 契約

ドメイン(アクセスポイントネーム)	foma.example.com
接続形態	CLOSE 接続
割当方式	固定アサイン
IP 着信機能	使用する
FOMA パケット電話番号着信機能	使用しない
RADIUS サーバ	なし
ネームサーバアドレス通知機能	なし

(2) FOMA 簡易設定

LAN 設定	IP アドレス設定	"固定 IP アドレスを使用"を設定します。
	IP アドレス	"192.168.1.254"を設定します。
	ネットマスク	"255.255.255.0"を設定します。
WAN 設定	IP アドレス設定	"固定 IP アドレスを使用"を設定します。
	IP アドレス	"192.168.2.2"を設定します。
	ネットマスク	"255.255.255.255"を設定します。
PPP 設定	発信インタフェース	"有効"を設定します。
	着信インタフェース	"有効"を設定します。
	発信先 APN	ビジネス mopera 契約のドメイン(アクセスポイントネーム)を設定します。
接続先ルート設定	ターゲット	"default"を設定します。

※本設定値は「サービスの編集」画面で変更することができます。

1.1.3 設定手順

1.1.3.1 FOMA 簡易設定

ビジネス mopera の設定を行います。FOMA 簡易設定を実施することにより、「スタティックルート設定」、「SNAT(固定 IP)設定」、「転送フィルタ設定」が自動的に設定されます。

※各設定内容については個々の設定画面にて確認することができます。

- (1) メニューから「サービスの選択」をクリックし、「図 1.1.3.1.1 サービスの選択画面/ビジネス mopera」を表示します。
- (2) 「ビジネス mopera」のラジオボタンを選択し、「次へ」ボタンをクリックします。

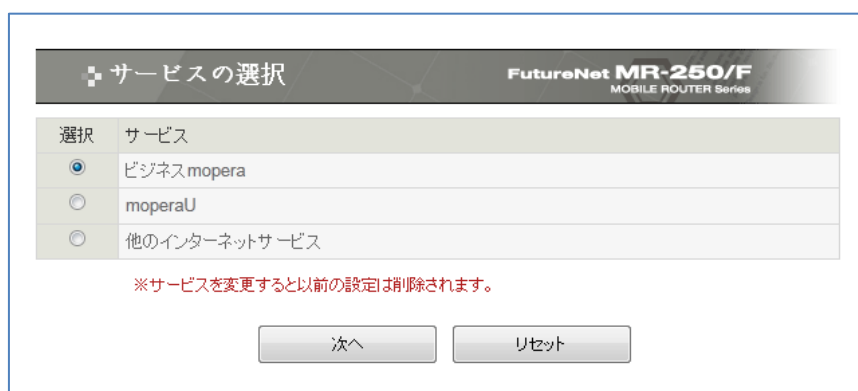


図 1.1.3.1.1 サービスの選択画面/ビジネス mopera

- (3) 「図 1.1.3.1.2 サービスの編集画面/ビジネス mopera」画面で「1.1.2 要件」のパラメータを入力し、「設定」ボタンをクリックします。

ビジネスmopera		FutureNet MR-250/F MOBILE ROUTER Series
LAN設定	▶ インタフェース	eth0
		<input checked="" type="radio"/> 固定IPアドレスを使用 <input type="radio"/> DHCPサーバーから取得
	▶ IPアドレス設定	↑ IPアドレス 192.168.1.254
		↑ ネットマスク 255.255.255.0
WAN設定	▶ 発信インタフェース	ppp0 (PPP設定名:bmoperaAO)
	▶ 着信インタフェース	ppp1 (PPP設定名:bmoperaAI)
		<input checked="" type="radio"/> 固定IPアドレスを使用 <input type="radio"/> 動的IPアドレスを使用
	▶ IPアドレス設定	↑ IPアドレス 192.168.2.2
		↑ ネットマスク 255.255.255.255
※ NAT/NAPT(アドレスとポートの変換)およびデフォルトルートは自動的に設定されます。		
PPP設定	▶ 発信インタフェース	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効
	▶ 着信インタフェース	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効
	▶ 発信先APN	foma.example.com
発信先ルート設定	▶ 発信先アドレス	
	▶ 発信先ネットマスク	
	▶ ターゲット	<input type="radio"/> net <input type="radio"/> host <input checked="" type="radio"/> default
<input type="button" value="設定"/> <input type="button" value="リセット"/>		

図 1.1.3.1.2 サービスの編集画面/ビジネス mopera

1.1.3.2 設定の管理

(1) メニューの「設定の管理」をクリックし、「図 1.1.3.2.1 設定の管理画面」を表示します。

設定の管理		FutureNet MR-250/F MOBILE ROUTER Series
設定の保存	編集した設定内容をフラッシュメモリへ書き込みます。	設定
設定のダウンロード	設定ファイルのダウンロード ブラウザの"リンクを保存する"を使用して取得してください	
設定のアップロード	ファイルの指定 <input type="text"/> 参照... 設定のアップロードが正しく行われると、フラッシュメモリへ書き込み、 本機器は自動的に再起動します。	設定
設定のリセット	現在の本体設定内容を全てクリアして工場出荷設定に戻し、 本機器は自動的に再起動します。	設定

---注意---

「設定の管理画面」にて設定の保存・復帰を行う際、ご利用のプロバイダ登録情報を含む設定情報等がネットワーク上に平文で流れます。
設定の保存・復帰は、ローカル環境もしくはVPN環境等、セキュリティが確保された環境下で行うことをおすすめします。

図 1.1.3.2.1 設定の管理画面

(2) 「設定の保存」項目の「設定」ボタンをクリックし、編集した設定内容をフラッシュメモリに書き込みます。

以上で、本設定手順は終了です。

1.2 mopera U 接続

この設定例は、「mopera U」によりインターネット接続環境を実現します。

拠点側に LAN を設け複数の端末を配置するため、**FutureNet MR-250/F** に SNAT(動的 IP)を使用し、クライアント向けに「DNS リレー」、「DHCP サーバ」サービスを使用します。また、保守管理用に「DDNS クライアント」サービスを使用します。

※mopera U は、NTT ドコモの FOMA 向けインターネット接続サービスです。

クライアントからの通信は短時間(10 分以内)で終了するものと仮定し、長時間の接続を避けるため「強制切断タイマ」を利用します。

※インターネットからのパケットを受信し続ける事で、「無通信接続タイマ」での回線切断が機能せず回線を接続したままになる事を防ぎます。

1.2.1 構成図

本設定例の構成図を「図 1.2.1.1 mopera U 構成図」に示します。

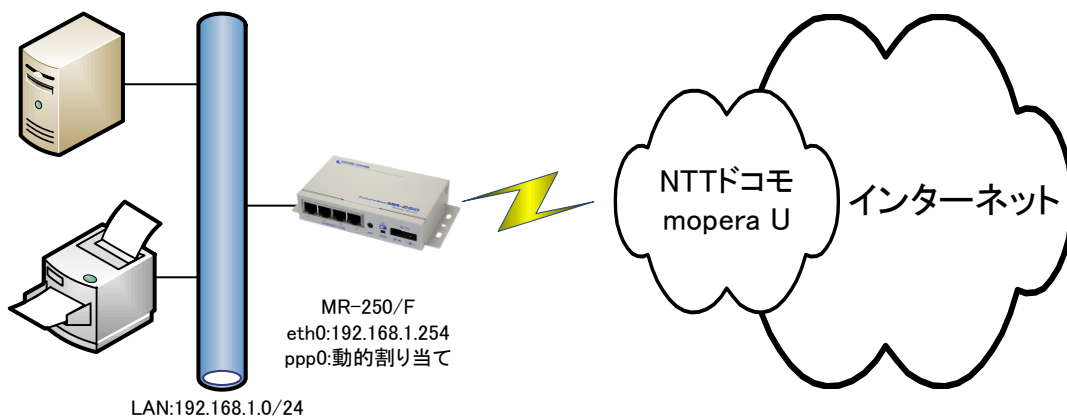


図 1.2.1.1 mopera U 構成図

1.2.2 要件

(1) mopera U 契約

ドメイン(アクセスポイントネーム)	mopera.net
割当方式	動的 IP アドレス割り当て
ネームサーバアドレス通知機能	あり

(2) FOMA 簡易設定

LAN 設定	IP アドレス設定	"固定 IP アドレスを使用"を設定します。
	IP アドレス	"192.168.1.254"を設定します。
	ネットマスク	"255.255.255.0"を設定します。
WAN 設定	IP アドレス設定	"動的 IP アドレスを使用"を設定します。
PPP 設定	発信インタフェース	"有効"を設定します。
	発信先 APN	mopera U 契約のドメイン(アクセスポイントネーム)を設定します。
	認証機能	"あり"を設定します。
	ユーザ ID	初期値を使用します。
	パスワード	初期値を使用します。
	DNS サーバ設定	"受入れる"を設定します。

(3) PPP(発信)設定

無通信接続タイマ	300 秒を設定します。
強制切断タイマ	600 秒を設定します。

※本設定値は「PPP(発信)設定」画面で変更することができます。

(4) DNS リレー設定

共通設定	機能動作	"有効"を設定します。
ppp-servers	DNS サーバルール設定	"有効"を設定します。
root-servers	DNS サーバルール設定	"有効"を設定します。

(5) DHCP サーバ設定

機能動作設定	"有効"を設定します。
割り当て開始アドレス設定	"192.168.1.64"を設定します。
割り当て終了アドレス設定	"192.168.1.127"を設定します。
サブネットマスク	"255.255.255.0"を設定します。
最大リース数設定	"64"を設定します。
ドメイン設定	"example.com"を設定します。
ルータ設定	"本器をルータとして設定"を設定します。
DNS サーバ設定	"本器を DNS サーバとして設定"を設定します。

(6) DDNS クライアント設定

DDNS サービスプロバイダ名	"DynDNS.com(free)"を選択します。
登録ドメイン名	DynDNS にて取得したドメイン名を設定します。

	例) "mae250f.dyndns-free.com"
ユーザ名	DynDNS に登録したユーザ名を設定します。
パスワード	DynDNS に登録したパスワードを設定します。

1.2.3 設定手順

1.2.3.1 FOMA 簡易設定

mopera U の設定を行います。FOMA 簡易設定を実施することにより、「スタティックルート設定」、「SNAT(動的 IP)設定」、「転送フィルタ設定」が自動的に設定されます。

※各設定内容については個々の設定画面にて確認することができます。

- (1) メニューから「サービスの選択」をクリックし「図 1.2.3.1.1 サービスの選択画面/mopera U」を表示します。
- (2) 「mopera U」のラジオボタンを選択し、「次へ」ボタンをクリックします。

選択	サービス
<input type="radio"/>	ビジネスmopera
<input checked="" type="radio"/>	moperaU
<input type="radio"/>	他のインターネットサービス

※サービスを変更すると以前の設定は削除されます。

次へ リセット

図 1.2.3.1.1 サービスの選択画面/mopera U

- (3) 「図 1.2.3.1.2 サービスの編集画面/mopera U」画面で「1.2.2 要件」のパラメータを入力し、「設定」ボタンをクリックします。

mopera U		FutureNet MR-250/F MOBILE ROUTER Series		
LAN設定	▶ インタフェース	eth0		
	▶ IPアドレス設定	<input checked="" type="radio"/> 固定IPアドレスを使用 <input type="radio"/> DHCPサーバーから取得		
		┆ IPアドレス	<input type="text" value="192.168.1.254"/>	
	┆ ネットマスク	<input type="text" value="255.255.255.0"/>		
WAN設定	▶ 発信インタフェース	ppp0 (PPP設定名:umopera)		
	▶ IPアドレス設定	動的IPアドレスを使用		
※ NAT/NAPT(アドレスとポートの変換)およびデフォルトルートは自動的に設定されます。				
PPP設定	▶ 発信インタフェース	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効		
	▶ 発信先APN	<input type="text" value="mopera.net"/>		
	▶ 認証機能	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし		
		┆ ユーザーID	<input type="text" value="user"/>	
		┆ パスワード	<input type="text" value="....."/>	
	▶ DNSサーバ設定	<input type="radio"/> 指定する <input checked="" type="radio"/> 受入れる <input type="radio"/> 使用しない		
┆ Primary		<input type="text"/>		
	┆ Secondary	<input type="text"/>		
<input type="button" value="設定"/> <input type="button" value="リセット"/>				

図 1.2.3.1.2 サービスの編集画面/mopera U

1.2.3.2 PPP(発信)設定

「強制切断タイマ」を指定するために、PPP(発信)の詳細設定を行います。

- (1) 「PPP(発信)設定」メニューをクリックし、「図 1.2.3.2.1 PPP(発信)設定画面」を表示します。
- (2) 「編集」セレクトボタンを選択し、「設定」ボタンをクリックして「図 1.2.3.2.2 PPP(発信)設定の詳細画面」を表示します。



図 1.2.3.2.1 PPP(発信)設定画面

- (3) 「強制切断タイマ」項目に"600"を入力し、「設定」ボタンをクリックします。

PPP (発信) 設定		FutureNet MR-250/F MOBILE ROUTER Series
PPP設定名	<input type="text" value="umopera"/>	
認証機能	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	
	└ ユーザーID <input type="text" value="user"/>	
	└ パスワード <input type="text" value="****"/>	
発信APN	<input type="text" value="mopera.net"/>	
自動接続モード	<input type="radio"/> always <input checked="" type="radio"/> demand <input type="radio"/> none	
切断時動作	<input checked="" type="radio"/> 何もしない <input type="radio"/> 再起動	
DDNSクライアント	<input type="radio"/> 使用する <input checked="" type="radio"/> 使用しない	
PPPオプション		
ローカルIPアドレス	<input checked="" type="radio"/> accept <input type="radio"/> reject	
リモートIPアドレス	<input checked="" type="radio"/> accept <input type="radio"/> reject	
無通信接続タイマ	<input type="text" value="300"/>	
強制切断タイマ	<input type="text" value="600"/>	
LCPエコー間隔	<input type="text" value="10"/>	
LCPエコー失敗	<input type="text" value="3"/>	
DNSサーバ設定	<input type="radio"/> 指定する <input checked="" type="radio"/> 受入れる <input type="radio"/> 使用しない	
	└ Primary <input type="text"/>	
	└ Secondary <input type="text"/>	
<input type="button" value="設定"/> <input type="button" value="リセット"/>		

図 1.2.3.2.2 PPP(発信)設定の詳細画面

1.2.3.3 DNS リレー設定

DNS リレーサービスを有効にするために、「機能動作」項目を"有効"に設定します。また、PPP 接続前の DNS サーバアドレス未取得時の対策として、DNS ルート情報が設定された「DNS サーバルール設定」を"有効"に設定します。

- (1) 「DNS リレー設定」メニューをクリックし、「[図 1.2.3.3.1 DNS リレー共通設定・サーバ設定の一覧画面](#)」を表示します。
- (2) 「共通動作：機能動作」の有効を選択し、「設定」ボタンをクリックします。「設定は完了しました」画面が表示されることを確認します。

DNSリレー設定		FutureNet MR-250/F MOBILE ROUTER Series					
共通設定	機能動作	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効					
	キャッシュ	MAX TTL	<input type="text" value="3600"/>				
		MIN TTL	<input type="text" value="900"/>				
			設定	リセット			
サーバ設定	優先度	サーバアドレス	ポリシー	許可ドメイン	拒否ドメイン	編集	削除
	254	ppp-servers	許可			<input type="radio"/>	
	255	root-servers	許可			<input type="radio"/>	
		DNSサーバルールの追加	追加				
		設定	リセット				

図 1.2.3.3.1 DNS リレー共通設定・サーバ設定の一覧画面

- (3) 再度「DNS リレー共通設定・サーバ設定の一覧画面」を表示します。
- (4) 「サーバ設定：優先度」が 255、「サーバアドレス」が root-servers 行の「編集」ラジオボタンを選択、「設定」ボタンをクリックし「図 1.2.3.3.2 DNS サーバ設定の画面」を表示します。
- (5) 「DNS サーバルール設定」の有効を選択し、「設定」ボタンをクリックします。

The screenshot shows the 'DNSサーバ設定' (DNS Server Settings) page for the FutureNet MR-250/F mobile router. The page is divided into several sections:

- DNSサーバルール設定** (DNS Server Rule Settings): Includes radio buttons for '有効' (Enabled) and '無効' (Disabled).
- プライオリティ設定** (Priority Setting): A text input field containing '255'.
- IPアドレス設定** (IP Address Setting): A list of IP addresses (198.41.0.4, 192.228.79.201, 192.33.4.12, 128.8.10.90, 192.203.230.10) with a '削除' (Delete) button and an empty text input field with an '追加' (Add) button.
- タイムアウト設定** (Timeout Setting): A text input field containing '30'.
- サーバ問い合わせ順設定** (Server Query Order Setting): Radio buttons for 'ランダム' (Random) and '先頭から' (From top).
- デフォルトポリシー設定** (Default Policy Setting): Radio buttons for '許可' (Allow) and '拒否' (Deny).
- 許可ルール設定** (Allow Rule Setting): An empty text input field with '削除' and '追加' buttons.
- 拒否ルール設定** (Deny Rule Setting): An empty text input field with '削除' and '追加' buttons.

At the bottom of the page, there are two buttons: '設定' (Settings) and 'リセット' (Reset).

図 1.2.3.3.2 DNS サーバ設定の画面

1.2.3.4 DHCP サーバ設定

LAN 側端末の動的 IP アドレス取得をサポートするため、DHCP サーバサービスを設定します。

- (1) 「DHCP サーバ設定」メニューをクリックし、「図 1.2.3.4.1 DHCP サーバ設定の画面」を表示します。「1.2.2 要件」のパラメータを入力して、「設定」ボタンをクリックします。

DHCPサーバ設定		FutureNet MR-250/F MOBILE ROUTER Series	
機能動作設定	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効		
割り当て開始アドレス設定	<input type="text" value="192.168.1.64"/>		
割り当て終了アドレス設定	<input type="text" value="192.168.1.127"/>		
サブネットマスク設定	<input type="text" value="255.255.255.0"/>		
最小リース時間設定	<input type="text" value="60"/>		
最大リース時間設定	<input type="text" value="86400"/>		
最大リース数設定	<input type="text" value="64"/>		
ドメイン設定	<input type="text" value="example.com"/>		
ルータ設定	モード	<input checked="" type="radio"/> 本機をルータとして設定 <input type="radio"/> 指定したアドレスを設定 <input type="radio"/> 使用しない	
	アドレス	<input type="text"/>	
DNSサーバ設定	モード	<input checked="" type="radio"/> 本機をDNSサーバとして設定 <input type="radio"/> 指定したアドレスを設定 <input type="radio"/> 使用しない	
	プライマリ	<input type="text"/>	
	セカンダリ	<input type="text"/>	
WINSサーバ設定	モード	<input type="radio"/> 指定したアドレスを設定 <input checked="" type="radio"/> 使用しない	
	プライマリ	<input type="text"/>	
	セカンダリ	<input type="text"/>	
IPアドレス固定割り付け設定	登録済みルール	<input type="text"/>	<input type="button" value="削除"/>
	新規ルール	MACアドレス	<input type="text"/>
IPアドレス		<input type="text"/>	

図 1.2.3.4.1 DHCP サーバ設定の画面

1.2.3.5 設定の管理

(1) メニューの「設定の管理」をクリックし、「図 1.2.3.5.1 設定の管理画面」を表示します。



図 1.2.3.5.1 設定の管理画面

(2) 「設定の保存」項目の「設定」ボタンをクリックし、編集した設定内容をフラッシュメモリに書き込みます。

以上で、本設定手順は終了です。

1.3 WarpLink DDNS 設定

この設定例は、「mopera U」によりインターネット接続環境を実現します。

※ 基本設定は「1.2 mopera U 接続」を参照してください。

拠点側に LAN を設け複数の端末を配置するため、**FutureNet MR-250/F** に SNAT(動的 IP)を使用し、クライアント向けに「DNS リレー」、「DHCP サーバ」、「DDNS クライアント」サービスを使用します。

mopera U は、NTT ドコモの FOMA 向けインターネット接続サービスです。

1.3.1 要件

(1) PPP(発信)設定

自動接続モード	"always"を選択します。
DDNS クライアント	"使用する"を選択します。
無通信接続タイマ	0 秒を設定します。
強制切断タイマ	0 秒を設定します。

※本設定値は「PPP(発信)設定」画面で変更することができます。

(2) DDNS クライアント設定

DDNS サービスプロパイダ名	"WarpLink DDNS"を選択します。
登録ドメイン名	WarpLink DDNS にて取得したドメイン名を設定します。 例) "mae250f.example.warplink.ne.jp"
ユーザ名	WarpLink DDNS サービスのユーザ名を設定します。
パスワード	WarpLink DDNS サービスのパスワードを設定します。

1.3.2 設定手順

1.3.2.1 PPP(発信)設定

「強制切断タイマ」を指定するために、PPP(発信)の詳細設定を行います。

- (1) 「PPP(発信)設定」メニューをクリックし、「図 1.3.2.1.1 PPP(発信)設定画面」を表示します。
- (2) 「編集」セレクトボタンを選択し、「設定」ボタンをクリックして「図 1.3.2.1.2 PPP(発信)設定の詳細画面」を表示します。



図 1.3.2.1.1 PPP(発信)設定画面

- (3) 「自動接続モード」項目の"always"を選択、「DDNS クライアント」項目の"使用する"を選択、「無通信接続タイマ」項目に"0"を入力、「強制切断タイマ」項目に"0"を入力し、「設定」ボタンをクリックします。

PPP (発信) 設定		FutureNet MR-250/F MOBILE ROUTER Series
PPP設定名	<input type="text" value="umopera"/>	
認証機能	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	
	└ ユーザーID <input type="text" value="user"/>	
	└ パスワード <input type="text" value="...."/>	
発信APN	<input type="text" value="mopera.net"/>	
自動接続モード	<input checked="" type="radio"/> always <input type="radio"/> demand <input type="radio"/> none	
切断時動作	<input checked="" type="radio"/> 何もしない <input type="radio"/> 再起動	
DDNSクライアント	<input checked="" type="radio"/> 使用する <input type="radio"/> 使用しない	
PPPオプション		
ローカルIPアドレス	<input checked="" type="radio"/> accept <input type="radio"/> reject	
リモートIPアドレス	<input type="radio"/> accept <input checked="" type="radio"/> reject	
無通信接続タイマ	<input type="text" value="0"/>	
強制切断タイマ	<input type="text" value="0"/>	
LCPエコー間隔	<input type="text" value="10"/>	
LCPエコー失敗	<input type="text" value="3"/>	
DNSサーバ設定	<input type="radio"/> 指定する <input checked="" type="radio"/> 受入れる <input type="radio"/> 使用しない	
	└ Primary <input type="text"/>	
	└ Secondary <input type="text"/>	
<input type="button" value="設定"/> <input type="button" value="リセット"/>		

図 1.3.2.1.2 PPP(発信)設定の詳細画面

1.3.2.2 DDNS クライアント設定

WAN 側から、**FutureNet MR-250/F** にアクセスできるように、「DDNS クライアント」サービスを設定します。

※ 「mopera U」接続は着信機能がないため、PPP(発信)接続中のみ WAN 側からアクセスできます。着信機能が必要な場合は、「ビジネス mopera」接続をご利用ください。

- (1) 「DDNS クライアント設定」メニューをクリックし、「図 1.3.2.2.1 DDNS クライアント設定の画面」を表示します。「1.3.1 要件」のパラメータを入力し、「設定」ボタンをクリックします。

DDNSクライアント 設定		FutureNet MR-250/F MOBILE ROUTER Series
DDNSサービスプロバイダ名	WarpLink DDNS	
登録ドメイン名	mr250f.example.warplink.ne.jp	
ユーザ名	username	
パスワード	●●●●●●	
機器設定情報	WarpLink DDNSサービス選択時のみ利用可能です。 ※ WarpLink DDNSサービスの申し込みが必要となります。	送信

設定 リセット

図 1.3.2.2.1 DDNS クライアント設定の画面

1.3.2.3 設定の管理

(1) メニューの「設定の管理」をクリックし、「**図 1.3.2.3.1 設定の管理画面**」を表示します。



図 1.3.2.3.1 設定の管理画面

(2) 「設定の保存」項目の「設定」ボタンをクリックし、編集した設定内容をフラッシュメモリに書き込みます。

以上で、本設定手順は終了です。

1.4 ビジネス mopera と mopea U の複数接続

この設定例は、"ビジネス mopera"によるセンターと拠点間のリモート接続環境、かつ"mopera U"によるインターネット接続環境の2つを実現します。また、DN(ドメイン名)によって問い合わせを行う DNS サーバを変更しています。example.com 宛ては"ビジネス mopera"に接続し、それ以外の DN は"mopera U"に問い合わせを行います。

拠点側に LAN を設け複数の端末を配置するため、**FutureNet MA-E250/F** に各々の接続先ごとに SNAT を使用します。

"ビジネス mopera"により接続を行う場合は、**FutureNet MA-E250/F** 側からセンター宛のトラヒック発生、またはセンターからの着信により接続を行います。example.com ドメイン宛てのトラヒックも同様です。

一方、"mopera U"により接続を行う場合は、**FutureNet MA-E250/F** 側からデフォルトルート宛のトラヒック発生により接続を行います。(ただしビジネス mopera のセンター宛のトラヒックを除く。)

"mopera U"へのクライアントからの通信は短時間(10 分以内)で終了するものと仮定し、長時間の接続を避けるため「強制切断タイマ」を利用します。

※インターネットからのパケットを受信し続ける事で、「無通信接続タイマ」での回線切断が機能せず回線を接続したままになる事を防ぎます。

1.4.1 構成図

本設定例の構成図を「図 1.4.1.1 ビジネス mopera と mopera U の複数接続時の構成図」に示します。

"ビジネス mopera"の場合、センター側ルータには、拠点宛てのスタティックルートを設定します。本構成図の場合は、拠点 192.168.1.0/24 宛てスタティックルートを設定します。

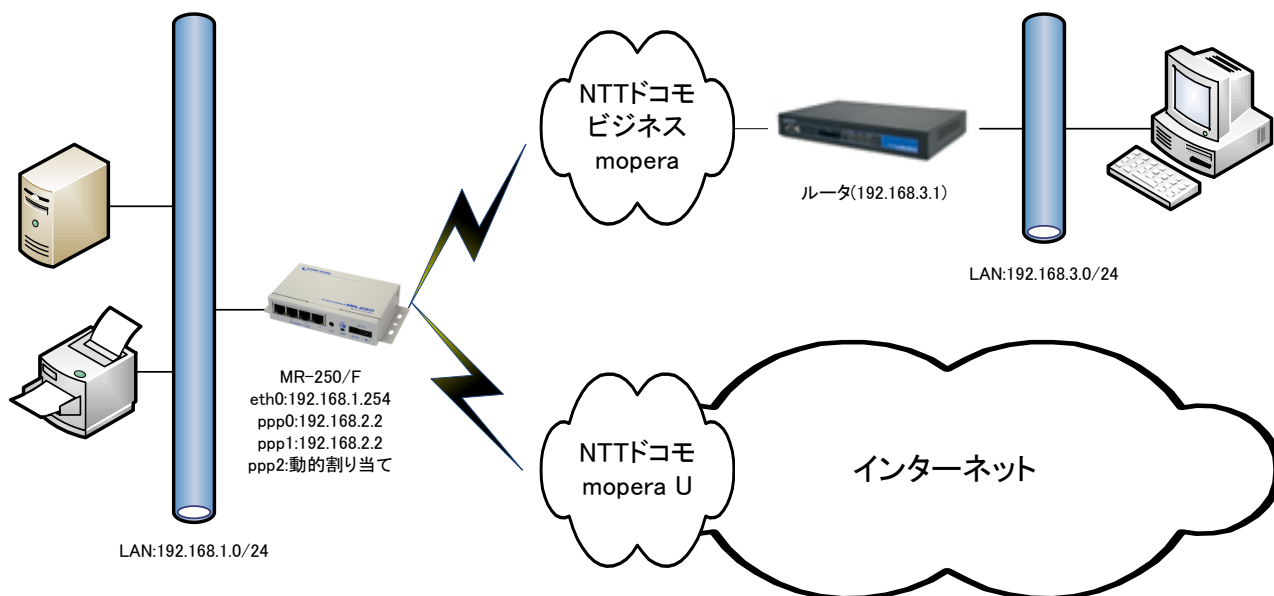


図 1.4.1.1 ビジネス mopera と mopera U の複数接続時の構成図

1.4.2 要件

(1) ビジネス mopera 契約

ドメイン(アクセスポイントネーム)	foma.example.com
接続形態	CLOSE 接続
割当方式	固定アサイン
IP 着信機能	使用する
FOMA パケット電話番号着信機能	使用しない
RADIUS サーバ	なし
ネームサーバアドレス通知機能	なし

(2) mopera U 契約

ドメイン(アクセスポイントネーム)	mopera.net
割当方式	動的アサイン
ネームサーバアドレス通知機能	あり

(3) FOMA 簡易設定(ビジネス mopera)

LAN 設定	IP アドレス設定	"固定 IP アドレスを使用"を設定します。
	IP アドレス	"192.168.1.254"を設定します。
	ネットマスク	"255.255.255.0"を設定します。
WAN 設定	IP アドレス設定	"固定 IP アドレスを使用"を設定します。
	IP アドレス	"192.168.2.2"を設定します。
	ネットマスク	"255.255.255.255"を設定します。
PPP 設定	発信インタフェース	"有効"を設定します。
	着信インタフェース	"有効"を設定します。
	発信先 APN	ビジネス mopera 契約のドメイン(アクセスポイントネーム)を設定します。
接続先ルート設定	発信先アドレス	"192.168.3.0"を設定します。
	発信先マスク	"255.255.255.0"を設定します。
	ターゲット	"net"を設定します。

※本設定値は「サービスの編集」画面で変更することができます。

(4) FOMA 簡易設定(mopera U)

WAN 設定	IP アドレス設定	"動的 IP アドレスを使用"を設定します。
PPP 設定	発信インタフェース	"有効"を設定します。
	着信インタフェース	"無効"を設定します。
	発信先 APN	mopera U 契約のドメイン(アクセスポイントネーム)を設定します。
発信先ルート設定	ターゲット	"default"を設定します。

※本設定値は「サービスの編集」画面で変更することができます。

(5) PPP(発信)設定(ビジネス mopera)

無通信接続タイマ	300 秒を設定します。
----------	--------------

※本設定値は「PPP(発信)設定」画面で変更することができます。

(6) PPP(発信)設定(mopera U)

認証機能		あり
	ユーザ ID	"user"を設定します。
	パスワード	"user"を設定します。
無通信接続タイマ		300 秒を設定します。
強制切断タイマ		600 秒を設定します。
DNS サーバ設定		"受入れる"を設定します。

※本設定値は「PPP(発信)設定」画面で変更することができます。

※mopera U の認証では、ユーザ ID、パスワードは任意の文字を使用できます。

詳細は、NTT ドコモの mopera U サービスのサポート情報等を参照して設定して下さい。

(7) DNS リレー設定

共通設定	機能動作	"有効"を設定します。
192.168.3.1	DNS サーバルール設定	"有効"を設定します。
	プライオリティ	"0"を設定します。
	IP アドレス設定	"192.168.3.1"を設定します。
	デフォルトポリシー設定	"拒否"を設定します。
	許可ルール設定	".example.com"を設定します。
ppp-servers	DNS サーバルール設定	"有効"を設定します。
	デフォルトポリシー設定	"許可"を設定します。
	拒否ルール設定	".example.com"を設定します。
root-servers	DNS サーバルール設定	"有効"を設定します。
	デフォルトポリシー設定	"許可"を設定します。
	拒否ルール設定	".example.com"を設定します。

(8) DHCP サーバ設定

機能動作設定	"有効"を設定します。
割り当て開始アドレス設定	"192.168.1.64"を設定します。
割り当て終了アドレス設定	"192.168.1.127"を設定します。
サブネットマスク	"255.255.255.0"を設定します。
最大リース数設定	"64"を設定します。
ドメイン設定	"example.com"を設定します。
ルータ設定	"本器をルータとして設定"を設定します。
DNS サーバ設定	"本器を DNS サーバとして設定"を設定します。

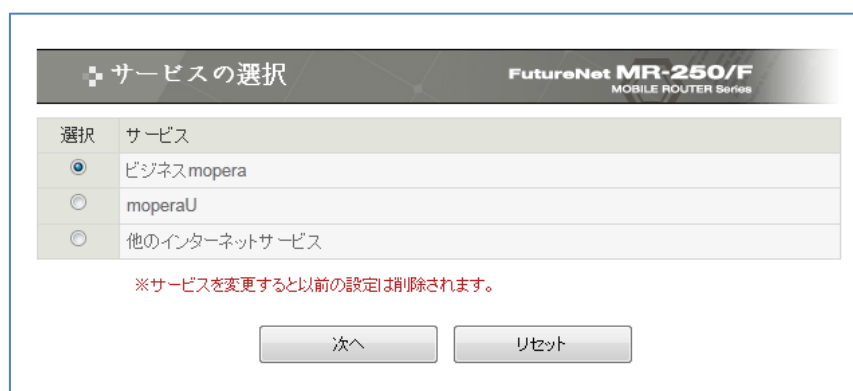
1.4.3 設定手順

1.4.3.1 FOMA 簡易設定

ビジネス mopera の設定を行います。FOMA 簡易設定を実施することにより、「スタティックルート設定」、「SNAT(固定 IP)設定」、「転送フィルタ設定」が自動的に設定されます。

※各設定内容については個々の設定画面にて確認することができます。

- (1) メニューから「サービスの選択」をクリックし、「図 1.4.3.1.1 サービスの選択画面」を表示します。
- (2) 「ビジネス mopera」のラジオボタンを選択し、「次へ」ボタンをクリックします。



選択	サービス
<input checked="" type="radio"/>	ビジネスmopera
<input type="radio"/>	moperaU
<input type="radio"/>	他のインターネットサービス

※サービスを変更すると以前の設定は削除されます。

次へ リセット

図 1.4.3.1.1 サービスの選択画面

- (3) 「図 1.4.3.1.2 サービスの編集画面」で「1.4.2 要件」のパラメータを入力し、「設定ボタン」をクリックします。

ビジネスmopera		FutureNet MR-250/F MOBILE ROUTER Series	
LAN設定	✦ インタフェース	eth0	
		<input checked="" type="radio"/> 固定IPアドレスを使用 <input type="radio"/> DHCPサーバーから取得	
	✦ IPアドレス設定	┆ IPアドレス	192.168.1.254
		┆ ネットマスク	255.255.255.0
WAN設定	✦ 発信インタフェース	ppp0 (PPP設定名:bmoperaAO)	
	✦ 着信インタフェース	ppp1 (PPP設定名:bmoperaAI)	
		<input checked="" type="radio"/> 固定IPアドレスを使用 <input type="radio"/> 動的IPアドレスを使用	
	✦ IPアドレス設定	┆ IPアドレス	192.168.2.2
		┆ ネットマスク	255.255.255.255
※ NAT/NAPT(アドレスとポートの変換)およびデフォルトルートは自動的に設定されます。			
PPP設定	✦ 発信インタフェース	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効	
	✦ 着信インタフェース	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効	
	✦ 発信先APN	foma.example.com	
発信先ルート設定	✦ 発信先アドレス	192.168.3.0	
	✦ 発信先ネットマスク	255.255.255.0	
	✦ ターゲット	<input checked="" type="radio"/> net <input type="radio"/> host <input type="radio"/> default	
<input type="button" value="設定"/> <input type="button" value="リセット"/>			

図 1.4.3.1.2 サービスの編集画面

- (4) メニューから「サービスの編集」をクリックし、接続先の「追加」ボタンをクリックします。
- (5) 「図 1.4.3.1.3 サービスの編集画面」画面で「1.4.2 要件」のパラメータを入力し、「設定」ボタンをクリックします。

サービスの編集		FutureNet MR-250/F MOBILE ROUTER Series	
LAN設定	✦ インタフェース	eth0	
WAN設定	✦ 発信インタフェース	ppp2 (PPP設定名:bmoperaBO) ▼	
	✦ 着信インタフェース	---	
	✦ IPアドレス設定	<input type="radio"/> 固定IPアドレスを使用 <input checked="" type="radio"/> 動的IPアドレスを使用	
		✦ IPアドレス	<input type="text"/>
	✦ ネットマスク	<input type="text"/>	
※ NAT/NAPT(アドレスとポートの変換)およびスタティックルートは自動的に設定されます。			
PPP設定	✦ 発信インタフェース	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効	
	✦ 着信インタフェース	<input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効	
	✦ 発信先APN	<input type="text" value="mopera.net"/>	
発信先ルート設定	✦ 発信先アドレス	<input type="text"/>	
	✦ 発信先ネットマスク	<input type="text"/>	
	✦ ターゲット	<input type="radio"/> net <input type="radio"/> host <input checked="" type="radio"/> default	
<input type="button" value="設定"/> <input type="button" value="リセット"/>			

図 1.4.3.1.3 サービスの編集画面

1.4.3.2 PPP(発信)設定

- (1) メニューから「PPP(発信)設定」をクリックして「PPP(発信)設定」一覧画面を表示し、「No.2」の「編集」ラジオボタンを選択し、「設定」ボタンをクリックします。
- (2) 「図 1.4.3.2.1 PPP(発信)設定の編集画面」で「1.4.2 要件」のパラメータを入力し、「設定」ボタンをクリックします。

The screenshot shows the 'PPP (発信) 設定' (PPP Outgoing Settings) configuration page for a FutureNet MR-250/F mobile router. The page is organized into several sections:

- PPP設定名:** bmosferaBO
- 認証機能:** あり なし
ユーザーID: user
パスワード: ****
- 発信APN:** mopera.net
- 自動接続モード:** always demand none
- 切断時動作:** 何もしない 再起動
- DDNSクライアント:** 使用する 使用しない
- PPPオプション:**
 - ローカルIPアドレス: accept reject
 - リモートIPアドレス: accept reject
 - 無通信接続タイム: 300
 - 強制切断タイム: 600
 - LCPエコー間隔: 10
 - LCPエコー失敗: 3
- DNSサーバ設定:** 指定する 受入れる 使用しない
Primary: []
Secondary: []

At the bottom of the page, there are two buttons: '設定' (Settings) and 'リセット' (Reset).

図 1.4.3.2.1 PPP(発信)設定の編集画面

1.4.3.3 DNS リレー設定

- (1) 「DNS リレー設定」メニューをクリックし、「図 1.4.3.3.1 DNS リレー共通設定・サーバ設定の一覧画面」を表示します。
- (2) 「共通動作：機能動作」の有効を選択し、「設定」ボタンをクリックします。「設定は完了しました」画面が表示されることを確認します。

DNSリレー設定		FutureNet MR-250/F MOBILE ROUTER Series					
共通設定	機能動作	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効					
	キャッシュ	MAX TTL	3600				
		MIN TTL	900				
			設定	リセット			
サーバ設定	優先度	サーバアドレス	ポリシー	許可ドメイン	拒否ドメイン	編集	削除
	254	ppp-servers	許可			<input type="radio"/>	
	255	root-servers	許可			<input type="radio"/>	
DNSサーバルールの追加			追加				
		設定	リセット				

図 1.4.3.3.1 DNS リレー共通設定・サーバ設定の一覧画面

- (3) 再度「DNS リレー共通設定・サーバ設定の一覧画面」を表示し、DNS サーバルールの追加欄の「追加」ボタンをクリックし「図 1.4.3.3.2 DNS サーバ設定の画面(追加)」を表示します。
- (4) 「DNS サーバ設定」画面で「1.4.2 要件」のパラメータを入力し、「設定」ボタンをクリックします。

The screenshot shows the 'DNSサーバ設定' (DNS Server Settings) interface for the FutureNet MR-250/F Mobile Router Series. The interface is divided into several sections:

- DNSサーバルール設定** (DNS Server Rule Settings): Includes radio buttons for '有効' (Enabled) and '無効' (Disabled).
- プライオリティ設定** (Priority Setting): A text input field containing '0'.
- IPアドレス設定** (IP Address Setting): A text input field containing '192.168.3.1', with '削除' (Delete) and '追加' (Add) buttons.
- タイムアウト設定** (Timeout Setting): A text input field containing '30'.
- サーバ問い合わせ順序設定** (Server Query Order Setting): Radio buttons for 'ランダム' (Random) and '先頭から' (From the beginning), with '先頭から' selected.
- デフォルトポリシー設定** (Default Policy Setting): Radio buttons for '許可' (Allow) and '拒否' (Deny), with '拒否' selected.
- 許可ルール設定** (Allow Rule Setting): A text input field containing '.example.com', with '削除' and '追加' buttons.
- 拒否ルール設定** (Deny Rule Setting): An empty text input field, with '削除' and '追加' buttons.

At the bottom of the screen, there are two buttons: '設定' (Settings) and 'リセット' (Reset).

図 1.4.3.3.2 DNS サーバ設定の画面(追加)

- (5) 「サーバ設定：優先度」が 254、「サーバアドレス」が ppp-servers 行の「編集」ラジオボタンを選択し、「設定」ボタンをクリックし「図 1.4.3.3.3 DNS サーバ設定の画面(ppp-servers 編集)」を表示します。
- (6) 「DNS サーバ設定」画面で「1.4.2 要件」のパラメータを入力し、「設定」ボタンをクリックします。

The screenshot displays the 'DNSサーバ設定' (DNS Server Settings) interface for the FutureNet MR-250/F Mobile Router Series. The page is titled 'DNSサーバ設定' and 'FutureNet MR-250/F MOBILE ROUTER Series'. It contains several configuration sections:

- DNSサーバルール設定:** Includes radio buttons for '有効' (checked) and '無効'.
- プライオリティ設定:** A text input field containing '254'.
- IPアドレス設定:** A large empty text area, a '削除' (Delete) button, an empty text input field, and an '追加' (Add) button.
- タイムアウト設定:** A text input field containing '30'.
- サーバ問い合わせ順設定:** Radio buttons for 'ランダム' and '先頭から' (checked).
- デフォルトポリシー設定:** Radio buttons for '許可' (checked) and '拒否'.
- 許可ルール設定:** A large empty text area, a '削除' (Delete) button, an empty text input field, and an '追加' (Add) button.
- 拒否ルール設定:** A text input field containing '.example.com', a '削除' (Delete) button, an empty text input field, and an '追加' (Add) button.

At the bottom of the page, there are two buttons: '設定' (Settings) and 'リセット' (Reset).

図 1.4.3.3.3 DNS サーバ設定の画面(ppp-servers 編集)

- (7) 「サーバ設定：優先度」が **255**、「サーバアドレス」が **root-servers** 行の「編集」ラジオボタンを選択し、「設定」ボタンをクリックし「図 1.4.3.3.4 DNS サーバ設定の画面(root-servers 編集)」を表示します。
- (8) 「DNS サーバ設定」画面で「1.4.2 要件」のパラメータを入力し、「設定」ボタンをクリックします。

The screenshot shows the 'DNSサーバ設定' (DNS Server Settings) page. At the top, it says 'DNSサーバ設定' and 'FutureNet MR-250/F MOBILE ROUTER Series'. The settings are as follows:

- DNSサーバルール設定:** 有効 無効
- プライオリティ設定:** 255
- IPアドレス設定:** A list of IP addresses: 198.41.0.4, 192.228.79.201, 192.33.4.12, 128.8.10.90, 192.203.230.10. There are '削除' (Delete) and '追加' (Add) buttons.
- タイムアウト設定:** 30
- サーバ問い合わせ順序設定:** ランダム 先頭から
- デフォルトポリシー設定:** 許可 拒否
- 許可ルール設定:** An empty text box with '削除' and '追加' buttons.
- 拒否ルール設定:** .example.com with '削除' and '追加' buttons.

At the bottom, there are '設定' (Apply) and 'リセット' (Reset) buttons.

図 1.4.3.3.4 DNS サーバ設定の画面(root-servers 編集)

- (9) 「図 1.4.3.3.5 DNS リレー共有設定・サーバ設定の一覧画面(設定後)」画面が表示されます。

The screenshot shows the 'DNSリレー設定' (DNS Relay Settings) page. At the top, it says 'DNSリレー設定' and 'FutureNet MR-250/F MOBILE ROUTER Series'. The settings are as follows:

- 共通設定:**
 - 機能動作: 有効 無効
 - キャッシュ:
 - MAX TTL: 3600
 - MIN TTL: 900

Below the common settings are '設定' (Apply) and 'リセット' (Reset) buttons.

The 'サーバ設定' (Server Settings) table is as follows:

サーバ設定	優先度	サーバアドレス	ポリシー	許可ドメイン	拒否ドメイン	編集	削除
	0	192.168.3.1	拒否	example.com		<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>
	254	ppp-servers	許可		.example.com	<input type="radio"/>	
	255	root-servers	許可		.example.com	<input type="radio"/>	

Below the table, there is a section for 'DNSサーバルールの追加' (Add DNS Server Rule) with an '追加' (Add) button. At the bottom, there are '設定' (Apply) and 'リセット' (Reset) buttons.

図 1.4.3.3.5 DNS リレー共有設定・サーバ設定の一覧画面(設定後)

1.4.3.4 DHCP サーバ設定

- (1) 「DHCP サーバ設定」メニューをクリックし、「図 1.4.3.4.1 DHCP サーバ設定の画面」を表示します。「1.4.2 要件」のパラメータを入力して、「設定」ボタンをクリックします。

DHCPサーバ設定		FutureNet MR-250/F MOBILE ROUTER Series	
機能動作設定	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効		
割り当て開始アドレス設定	<input type="text" value="192.168.1.64"/>		
割り当て終了アドレス設定	<input type="text" value="192.168.1.127"/>		
サブネットマスク設定	<input type="text" value="255.255.255.0"/>		
最小リース時間設定	<input type="text" value="60"/>		
最大リース時間設定	<input type="text" value="86400"/>		
最大リース数設定	<input type="text" value="64"/>		
ドメイン設定	<input type="text" value="example.com"/>		
ルータ設定	モード	<input checked="" type="radio"/> 本機をルータとして設定 <input type="radio"/> 指定したアドレスを設定 <input type="radio"/> 使用しない	
	アドレス	<input type="text"/>	
DNSサーバ設定	モード	<input checked="" type="radio"/> 本機をDNSサーバとして設定 <input type="radio"/> 指定したアドレスを設定 <input type="radio"/> 使用しない	
	プライマリ	<input type="text"/>	
	セカンダリ	<input type="text"/>	
WINSサーバ設定	モード	<input type="radio"/> 指定したアドレスを設定 <input checked="" type="radio"/> 使用しない	
	プライマリ	<input type="text"/>	
	セカンダリ	<input type="text"/>	
IPアドレス固定割り付け設定	登録済みルール	<input type="text"/>	<input type="button" value="削除"/>
	新規ルール	MACアドレス	<input type="text"/>
IPアドレス		<input type="text"/>	

図 1.4.3.4.1 DHCP サーバ設定の画面

1.4.3.5 設定の管理

(1) メニューの「設定の管理」をクリックし、「図 1.4.3.5.1 設定の管理画面」を表示します。

設定の管理		FutureNet MR-250/F MOBILE ROUTER Series
設定の保存	編集した設定内容をフラッシュメモリへ書き込みます。	設定
設定のダウンロード	設定ファイルのダウンロード ブラウザの"リンクを保存する"を使用して取得してください	
設定のアップロード	ファイルの指定 <input type="text"/> 参照 設定のアップロードが正しく行われると、フラッシュメモリへ書き込み、 本機器は自動的に再起動します。	設定
設定のリセット	現在の本体設定内容を全てクリアして工場出荷設定に戻し、 本機器は自動的に再起動します。	設定

---注意---

「設定の管理画面」にて設定の保存・復帰を行う際、ご利用のプロバイダ登録情報を含む設定情報がネットワーク上に平文で流れます。
設定の保存・復帰は、ローカル環境もしくはVPN環境等、セキュリティが確保された環境下で行うことをおすすめします。

図 1.4.3.5.1 設定の管理画面

(2) 「設定の保存」項目の「設定」ボタンをクリックし、編集した設定内容をフラッシュメモリに書き込みます。

以上で、本設定手順は終了です。

第2章 NTP クライアントの設定例

2.1 mopera U 接続

この設定例は、「mopera U」によりインターネット接続環境を利用し、NTP サーバとの時刻同期を実現します。「mopera U」の接続方法は、「1.2 mopera U 接続」を参照してください。

2.1.1 要件

(1) NTP クライアント設定


NTP サーバ情報		URL は" ntp.nict.jp "
起動時動作設定	機能動作	起動時に NTP クライアントを起動するように"有効"を設定します。
	時刻補正方式	NTP サーバより取得した時刻を即座に適応するように、" step "を設定します。
	接続制御	[接続制御][設定ルール]項目を"有効"に設定し、NTP クライアントを実行する前に PPP 接続処理を実行します。 PPP の[自動接続モード]項目が" demand "設定時は、[接続制御][接続確認][設定ルール]項目を有効に設定します。
	切断制御	NTP クライアント実行後、回線を即座に切断するために[切断制御][設定ルール]項目を"有効"に設定します。
スケジュール動作設定	機能動作	定期的に NTP クライアントを起動するように"有効"を設定します。
	時刻補正方式	NTP サーバより取得した時刻に徐々に調整していく様に" slew "を設定します。
	接続制御	[接続制御][設定ルール]項目を"有効"に設定し、NTP クライアントを実行する前に PPP 接続処理を実行します。 PPP の[自動接続モード]項目が" demand "設定時は、[接続制御][接続確認][設定ルール]項目を有効に設定します。
	切断制御	NTP クライアント実行後、回線を即座に切断するために[切断制御][設定ルール]項目を"有効"に設定します。

(2) スケジュール設定

NTP クライアントサービス	1 日 1 回、午前 4 時に NTP クライアントサービスを実行するように設定します。
----------------	--

2.1.2 設定手順

2.1.2.1 NTP クライアント設定

- (1) 「NTP クライアント設定」メニューをクリックし、「 2.1.2.1.1 NTP クライアント設定の画面」を表示します。「2.1.1 要件」のパラメータを入力し、「設定」ボタンをクリックします。

NTPクライアント設定		FutureNet MR-250/F MOBILE ROUTER Series			
NTP設定	サーバ(宛先)	<input type="text" value="ntp.nict.jp"/>			
	サンプル数	<input type="text" value="4"/>			
	タイムアウト	<input type="text" value="1"/>			
起動時動作設定	機能動作	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効			
	時刻補正方式	<input type="radio"/> slew <input checked="" type="radio"/> step <input type="radio"/> query			
	接続制御	設定ルール	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効		
		接続先不一致時動作	<input checked="" type="radio"/> 何もしない <input type="radio"/> 回線を切断する		
		接続確認	設定ルール	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効	
			送信インターバル	<input type="text" value="3"/>	
	送信カウント数		<input type="text" value="10"/>		
デッドライン	<input type="text" value="0"/>				
切断制御	設定ルール	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効			
スケジュール動作設定	機能動作	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効			
	時刻補正方式	<input checked="" type="radio"/> slew <input type="radio"/> step <input type="radio"/> query			
	接続制御	設定ルール	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効		
		接続先不一致時動作	<input checked="" type="radio"/> 何もしない <input type="radio"/> 回線を切断する		
		接続確認	設定ルール	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効	
			送信インターバル	<input type="text" value="3"/>	
	送信カウント数		<input type="text" value="10"/>		
デッドライン	<input type="text" value="0"/>				
切断制御	設定ルール	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効			
※ 実行日時の指定は、「スケジュール設定」画面にて設定してください。					
		<input type="button" value="設定"/>	<input type="button" value="リセット"/>		

図 2.1.2.1.1 NTP クライアント設定の画面

2.1.2.2 スケジュール設定

- (1) 「スケジュール設定」メニューをクリックし、「スケジュール設定」一覧画面を表示します。続いて「追加」ボタンをクリックし、「図 2.1.2.2.1 スケジュール詳細設定の画面」を表示します。「2.1.1 要件」のパラメータを入力し、「設定」ボタンをクリックしてください。

スケジュール詳細設定		FutureNet MR-250/F MOBILE ROUTER Series
月	*	
日	*	
週	*	
時	4	
分	0	
アクション	NTPクライアントサービス	

設定 リセット

図 2.1.2.2.1 スケジュール詳細設定の画面

スケジュール設定		FutureNet MR-250/F MOBILE ROUTER Series							
No	月	日	週	時	分	アクション	アクション設定	編集	削除
1	*	*	*	4	0	NTPクライアントサービス	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>

スケジュールの追加

アクション設定 設定 リセット

図 2.1.2.2.2 スケジュール設定の一覧画面(設定後)

2.1.2.3 設定の管理

(1) メニューの「設定の管理」をクリックし、「図 2.1.2.3.1 設定の管理画面」を表示します。

設定の管理		FutureNet MR-250/F MOBILE ROUTER Series
設定の保存	編集した設定内容をフラッシュメモリへ書き込みます。	設定
設定のダウンロード	設定ファイルのダウンロード ブラウザの"リンクを保存する"を使用して取得してください	
設定のアップロード	ファイルの指定 <input type="text"/> 参照... 設定のアップロードが正しく行われると、フラッシュメモリへ書き込み、 本機器は自動的に再起動します。	設定
設定のリセット	現在の本体設定内容を全てクリアして工場出荷設定に戻し、 本機器は自動的に再起動します。	設定

---注意---

「設定の管理画面」にて設定の保存・復帰を行う際、ご利用のプロバイダ登録情報を含む設定情報等がネットワーク上に平文で流れます。
設定の保存・復帰は、ローカル環境もしくはVPN環境等、セキュリティが確保された環境下で行うことをおすすめします。

図 2.1.2.3.1 設定の管理画面

(2) 「設定の保存」項目の「設定」ボタンをクリックし、編集した設定内容をフラッシュメモリに書き込みます。

以上で、本設定手順は終了です。

FutureNet MR-250/F 設定例集 Ver. 2.4

2012 年 07 月版

発行 センチュリー・システムズ株式会社

Copyright© 2012 Century Systems Co., Ltd. All rights reserved.
